

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年6月6日(月)	場所	泊高校本館4階多目的室	出席状況	評議員4名 学校職員10名
第2回	日時	令和4年10月17日(月)	場所	泊高校体育館1階講義室	出席状況	評議員2名 学校職員10名
第3回	日時	令和5年2月6日(月)	場所	泊高校本館2階大会議室	出席状況	評議員3名 学校職員10名

2 学校評議員に求めた事項

以下について外部有識者としての意見を求めた

- ①単位制教育の充実
- ②教育環境の充実
- ③キャリア教育の充実
- ④特別活動の充実
- ⑤情報教育の充実
- ⑥開かれた学校運営の推進

3 学校評議員の意見

- ①学校経営方針を三部(定時制課程午前部夜間部・通信制課程)で共有し教育実践に繋げてほしい。
- ②スクールポリシー(定時・通信制)に関する取組実践に向け、教育活動手立てを明示できるようにする。
- ③泊高校の魅力をどのように生徒・保護者・地域等に発信していくか。
- ④時代が変化し、教育に対する価値観も多様化する中、就職・進学支援で本校の良さを出せるような取り組みをしてほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ①学校経営方針を各部発足職員会議で周知。また、評価システム面談を活用し、一人一人の教職員の教育目標が学校経営方針を踏まえた設定になるよう、価値付けや指導・助言を実施した。
- ②スクールポリシーを学校HP、学校説明会、新入生オリエンテーション等で紹介。生徒・保護者・教職員がスクールポリシーを具体的に捉える場を設定することで、本校の教育活動に取り組む心構えを高めた。
- ③学校説明会(年3回)、中学校進路説明会、三者面談、個別相談、受講登録等を活用し、単位制高校の強みを生かした教育システムについての周知を図ると共に、通級指導(午前部のみ)、教育相談、SC、特別支援教育支援員(午前・夜間部のみ)、就学継続支援員、外部支援団体等と連携した生徒支援体制の説明も実施することで、本校の特色について理解を図った。
- ④スクールポリシー及び学校経営方針を踏まえた学校評価になるよう見直しを図った。本校教育活動の特色を明確化することで、効果的な生徒支援が実現できる協働体制づくりに繋がった。

5 課題その他

- ①多様な背景を持つ生徒に対する支援体制の強化
- ②学校編成整備計画と単位制教育の特色を踏まえた教育課程の研究